

事業名 市場の公正確保のための経費

公開プロセス コメントシートに記載された外部有識者の主なコメント

【成果指標に関する論点関係】

- アウトカム指標について、例えば、調査検査件数に占める勧告・告発件数など、活動の効率性、システムの効率性を示す指標を見出すべき。
- 金融取引の高度化に伴い、事業費が累増していくおそれがある。ついては、成果指標の適正化、それに基づく活動内容の的確な整理等を検討、実施していくべき。〔他の論点関係との共通コメント〕
- インターネット巡回監視システムについては、書込件数に占める、調査検証対象として認識された件数の割合を成果指標としてはどうか。デジタルフォレンジックについては、調査・検査件数に占める、勧告・告発件数の割合を成果指標としてはどうか。
- 「成果指標」を勧告・告発件数だけではなく比率で示してほしい。

【設備・手法整備及び予算規模に関する論点関係】

- 担当者の研修をしているが、その能力について客観的に示せるテスト手法があれば、検討してはどうか。
- より効果的な監視のためにAIやビッグデータの活用を含む最新テクノロジーの導入を検討するべき。その際、効率性を高めるために、省庁横断的な取り組みと海外も含めた他機関との情報交換、役割分担、ネットワーク化を強化する。IT専門家等の人材育成の強化も必要。
- 監視、監督に係るIT予算は、米・英に比べてきわめて低い水準にあり、市場の公正確保という観点から、今回のデジタルフォレンジックやインターネット巡回監視システムのみならず、ビッグデータ分析やAI活用を視野に入れた予算の拡充を図るべき。
- インターネット巡回監視システムについては、対象サイトを特定しているが、抜本的にWEB上全ての情報を対象にしなくてよいのか。また、その情報解析に関するAIの活用を図らないとその分析のためのマンパワーが不足してくるのではないのか。
- FinTechなどシステム技術の変化に対応して、解析力の向上、技術の向上を進めてほしい。